

巻頭言

年頭にあたって

— 続・将来の発展へ向けての所感 —

所長 石原智男

Tomo-o ISHIHARA



昨年は年頭にあたって生産技術研究所の設立以来の歩みを振り返り、当所の研究体制のあるべき姿を求めてゆきたいという趣旨の所感を述べました。その趣旨のもとに、この一年間に将来計画委員会でやってきた基本方針の立案や関連する具体的事項の一端について報告するとともに、所感を述べて昭和 58 年の年頭のご挨拶とさせていただきます。

研究体制については、まず第一に研究スタッフ個人の自らの価値観に基づいた研究テーマの選択による独創的・萌芽的研究を所として推進することが基本であると考えます。次に、これらの研究成果をより大きく発展させるため、また総合的あるいは境界領域的研究を育成するため、関連する研究スタッフによるグループ研究を流動的かつ積極的に奨励することが望まれます。さらに、時代の要請に応じた大型プロジェクト研究を遂行するため、所として効果の期待できる研究グループを組織することが要求されます。一方、これらの体制づくりとともに、我が国唯一ともいえる大学附置の総合工学の研究所として、幅広い工学研究に関する国内交流はもちろんのこと国際交流の中心的立場を志向したいと考えます。

施設については、科学技術の急速な進歩に対応して当所の施設の近代化を推進する必要があります。現在の六本木庁舎は昭和 3 年竣工の旧連隊の建物であり、老朽化の面からも、また最近の研究の多様化・流動化に即応できる機能に欠けている面からも、このままで使用を継続することは、しだいに困難となってきております。研究体制のあるべき姿を受け、さらに国内ならびに国際交流の重要性を考え、六本木庁舎の新築を計画することにしました。その場合、主として六本木庁舎を研究活動、国内外交流および教育の場として位置づけ、千葉実験所を大規模実験や野外実験の場として位置づけることは従来と変わりません。六本木庁舎の新築は約 13 年前にも計画されましたが、当時は六本木キャンパスが大蔵省所管であったこともあり、実現されずに今日に至っております。長年にわたって六本木キャンパスの東大への所管替えを願い、所としてそのための努力を払ってまいりましたが、関係方面各位のご理解をえて昨年 3 月待望の東大への所管替えが認められました。新築計画は、昨年 6 月に建築計画調査室を設置し、前回の計画の見直しを含めて新しい展望のもとに基本計画立案が精力的に進められ、10 月には基本構想と建物模型が作られました。今後はその具体化に向けて十分な努力を払いたいと考えます。

新しい研究体制制作りの目標は、先にも述べましたように、基本的には独創的・萌芽的研究の推進であり、その方策について、広く所内外の意見をもとめてまいりました。昨年 2 月にはノーベル物理学賞受賞者の江崎玲於奈博士 (IBM ワトソン研究所) にご来所いただき、工学上の独創的研究の進め方等について意見をうかがう機会をえしました。その折の江崎博士のお考えの一端をご紹介することにします。なお、この文面は当日の懇談内容を生駒教授がまとめたものです。

『(1) 創造性は“何々のために必要である”というのではなく、創造そのものに価値を置くことが大切であり、アメリカでは社会がそのような価値観を備えている。日本では科学技術と一語でいうが、本来、(自然)科学と技術というべきである。自然科学は長い歴史の下に学問(理学)としての高い地位を得ているのに対して、技術は即物的で、役に立つという立場からのみ評価される。工学は、科学と技術を結び付ける学問で、その重要性はますます高まっているが、日本では未だ学問として然るべき地位をえていない。創造性豊かな総合的研究を通して、工学が学問としての尊敬を勝ち取ってゆく必要がある。その意味で生産技術研究所の役割は重要である。』

(2) 研究成果を常に経済的尺度で計る悪弊が我が国にはある。文明国では、工学(応用科学)の研究も何かのために必要であるというのではなく、文化的活動の一つとして把える視点を定着させる必要がある。アメリカで創造的研究が活発なのは、post doctoral fellow 等の若い人々の研究エネルギーに負うところが大きい。

(3) 我が国のような島国は、従来独創的なものを必要としなかった。むしろ個人個人の突出を抑えることによって社会が成り立ってきた。しかし今後国際化の中で、日本が分相応の役割を演じるためには、創造的研究によって国際社会へ貢献する必要があるという議論があるが、むしろ、創造的仕事を創造的であるがゆえに評価するという風土を作ることが重要である。』

ここに指摘された生産技術研究所の存在意義を考え、研究スタッフの活力の充実とそれを支える良き研究環境の整備に向けて前進してゆきたいと思います。以上のことについて、所内ならびに所外の皆様のご協力をお願いいたします。